

日本・ウラジオストク協会 懇談サロン in 敦賀

「日本・ウラジオストク協会」では、2007年創立以来、ロシア沿海地方ウラジオストクとの交流の輪を広げるため、会員を中心とした交流サロンを定期的を開催しております。ロシア料理を楽しむ会から、近年のロシア情勢及び日露関係の講演会など、テーマは様々です。

今回は、福井県敦賀に残されている日露交流の足跡を訪ねる懇談サロンを企画しました。敦賀港は、戦前ウラジオストクを経由しシベリア鉄道でヨーロッパに向かった人々が利用した港です。また、第2次世界大戦中、在リトアニア・カウナスの杉原千畝領事が発行した「命のビザ」を持ってウラジオストク経由で日本に逃れてきたユダヤ人達が上陸したのも敦賀港でした。当時の様々な資料を所蔵している「人道の港 敦賀ムゼウム」訪問、ゆかりの地訪問、また地元の郷土史研究会の皆さんとの交流という2日間のプログラムを組んでみました。全行程参加するもよし、1日参加もOK、また滞在を延期して福井観光としていただいても構いません。

会員の皆様はもちろん、ご家族やお知り合いなど、企画にご関心のある方の参加を歓迎いたします！

☆ 懇談サロン in 敦賀「敦賀に日露交流の足跡を訪ねて」☆

開催日：2017年4月8日（土）～4月9日（日） 一泊二日

※ 基本的に現地集合・現地解散、現地までの移動及び宿泊は個人でお手配いただきます。ご自身で難しい方は事務局にご相談ください。

※ 滞在中の市内見学、入場料及び史跡訪問時の移動費（タクシー代など）各自負担です。

主要訪問地：「人道の港 敦賀ムゼウム」、旧敦賀港駅舎など。

※ 詳細別紙ご参照ください。

現地受入の関係もあり、申し込み締め切りを3月25日（土）とさせていただきます。参加希望の方は、事務局までお申し込みください。なお、参加人数によってはプログラム内容が若干変更することがあります。

お申込みとお問合せ：《日本・ウラジオストク協会》
156-0052 世田谷区経堂 5-8-5 中本方
E-mail: office@jpvlad.com
担当：事務局 浅井利春
携帯：080-5862-2124

☆ 協会では随時会員を募集しております。沿海地方やウラジオストクに興味のある方など、私たちの活動に興味を持っていただける方のご入会を歓迎いたします！

訪問地、交通手段、宿泊先などのご案内

人道の港 敦賀ムゼウム：敦賀港は、1920 年に「ポーランド孤児」、1940 年に「命のビザ」を持ったユダヤ人難民が上陸した日本で唯一の港。古くから大陸への玄関口として栄え、「東洋の波止場」と謳われた敦賀港は「人道の港」でもありました。「命のビザ」を持って逃れてきたユダヤ人を浦潮の港から日本に送り出したのは、当時の浦潮日本総領事代理であった根井三郎氏。船長はじめ多くの船員たち、敦賀の市民たちが彼らを温かく出迎え世話したからこそ、彼らは無事に世界各地へ渡ることが出来たのです。ムゼウムには、その子孫たちが敦賀を忘れずに交流しているという史実も展示されています。

敦賀港駅舎：敦賀鉄道資料館として利用されているこの建物は「欧亜国際連絡列車」の発着駅として、かつて重要な位置を占めていた敦賀港駅舎を再現したもの。明治 45 年 6 月から新橋-金ヶ崎（後に敦賀港駅と改称）間で運行していた「欧亜国際連絡列車」は、ウラジオストク行の船に連絡し、シベリア鉄道を経由してヨーロッパへと通じていました。当時、船を利用すると日本からヨーロッパへは 1 ヶ月もかかる長旅でしたが、欧亜国際連絡列車とシベリア鉄道経由のルートでは、東京-パリ間をわずか 17 日間で結び、多くの人々や文化を運びました。

敦賀市立図書館：「浦潮日報」のコピーが保管されています。

敦賀市立博物館：当時の大和田銀行をリニューアルした建物、戦国女子の間で人気の高く NHK 大河ドラマ「真田丸」にも登場した豊臣時代の敦賀城主大谷吉継の展示が充実しています。

金崎宮：織田信長が朝倉攻めの折り、信長の妹お市は、信長が浅井・朝倉両軍に挟まれ窮地に陥ったことを知らせるため、両方を紐で結んだ袋に小豆を入れ陣中に届けたそうです。それを察した信長は後に近江姉川にて浅井・朝倉軍を破ることができたそうです。このエピソードから、金崎宮は難関突破の宮とも言われています。境内は桜の名所として知られ（約 1,000 本のソメイヨシノ）例年 4 月上旬が満開となります。境内には戦前の浦潮日本人商店寄進の玉垣が残されています。

予定日程（参加人数によって若干変更の可能性もあります）

第一日：11：40 JR 敦賀駅集合

「人道の港 敦賀ムゼウム」見学

旧敦賀港駅舎 見学

敦賀市の郷土史研究家グループ「人道の道調査研究会」

「日本海地誌調査研究会」有志との懇談会、または懇親会

各自宿泊先へ

第二日：00:00 集合

敦賀市立博物館訪問

敦賀市立図書館訪問

金崎宮参拝等

16：00 JR 敦賀駅にて解散

交通手段（東京からの参加の場合の参考例）

「東京—敦賀」所要時間約3時間、片道大人13,270円

（行き） 東京発 8：33「ひかり55号」

米原着 10：44 米原発 10：56 北陸線「しらさぎ5号」

敦賀着 11：24

（帰り） 敦賀発 16：10「しらさぎ12号」

米原着 16：44 米原発 16：58「ひかり528号」

東京着 19：10

敦賀駅周辺のビジネスホテル

「敦賀マンテンホテル駅前」TEL：0770-25-0100 シングル朝食付き 7,300円から

「ルートイン敦賀駅前」TEL: 0770-21-2232 シングル朝食付き 5,800円から

「東横INN敦賀駅前」TEL: 0770-20-1045 シングル朝食付き 6,300円から